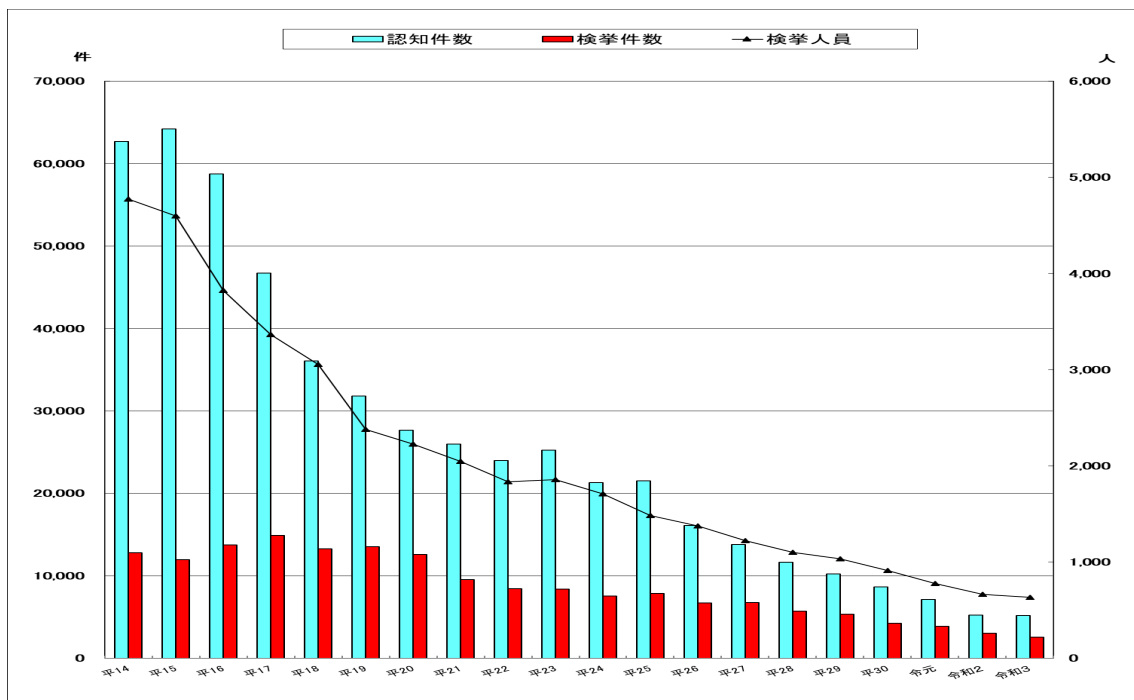


自動車盗難等の発生状況について

警察庁、財務省、経済産業省、国土交通省及び民間19団体から成る「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」では、「自動車盗難等の防止行動計画」（平成14年1月策定、令和元年12月改定）に基づき、イモビライザ等の盗難防止機器の普及促進、使用者に対する防犯指導、広報啓発等に取り組んでいます。

1 自動車盗の認知・検挙件数・検挙人員の推移

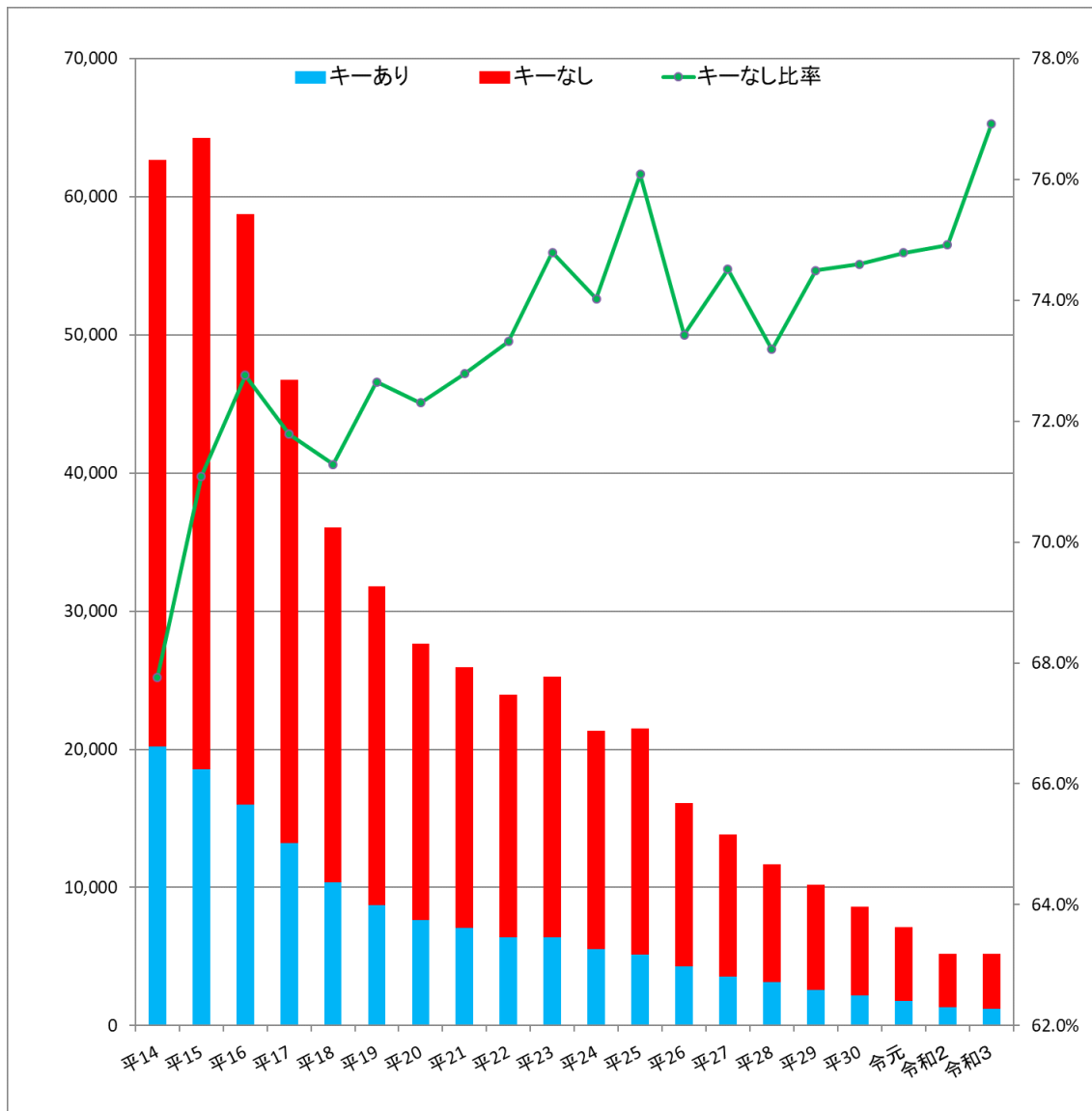
自動車盗の認知件数は、平成15年（6万4,223件）のピーク時以降、減少傾向にあり、令和3年は5,182件とピーク時から1割以下にまで減少しています。検挙件数については、平成17年（1万4,898件）以降、減少傾向にあります。一方、検挙率については、令和3年は49.3パーセントになっており、約半数が検挙されています。



	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令和元	令和2	令和3
認知件数	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182
増減数(前年比)	-602	1,550	-5,486	-12,009	-10,670	-4,268	-4,122	-1,708	-1,990	1,268	-3,919	210	-5,425	-2,283	-2,166	-1,442	-1,585	-1,485	-1,933	-28
増減率(前年比)	-1.0	2.5	-8.5	-20.4	-22.8	-11.8	-13.0	-6.2	-7.7	5.3	-15.5	1.0	-25.2	-14.2	-15.7	-12.4	-15.5	-17.2	-27.1	-0.5
検挙件数	12,791	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	6,689	6,755	5,713	5,357	4,248	3,845	3,006	2,556
検挙人員	4,775	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224	1,100	1,034	914	778	666	634
検挙率	20.4	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.4	36.8	35.2	33.2	35.4	36.5	41.5	48.9	49.0	52.5	49.2	53.8	57.7	49.3

2 自動車盗の認知件数（キーあり・キーなし）の推移

自動車盗に占める、キーなしの比率は、平成15年以降、70パーセント台で推移しており、令和3年は全体の76.9パーセントと、4台に3台がキーなしの状態に被害に遭っています。



	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令和元	令和2	令和3
認知件数	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182
キーあり	20,204	18,568	15,999	13,186	10,355	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523	3,125	2,605	2,192	1,801	1,307	1,196
キーなし	42,469	45,655	42,738	33,542	25,703	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298	8,530	7,608	6,436	5,342	3,903	3,986
キーなし比率	67.8	71.1	72.8	71.8	71.3	72.6	72.3	72.8	73.3	74.8	74.0	76.1	73.4	74.5	73.2	74.5	74.6	74.8	74.9	76.9

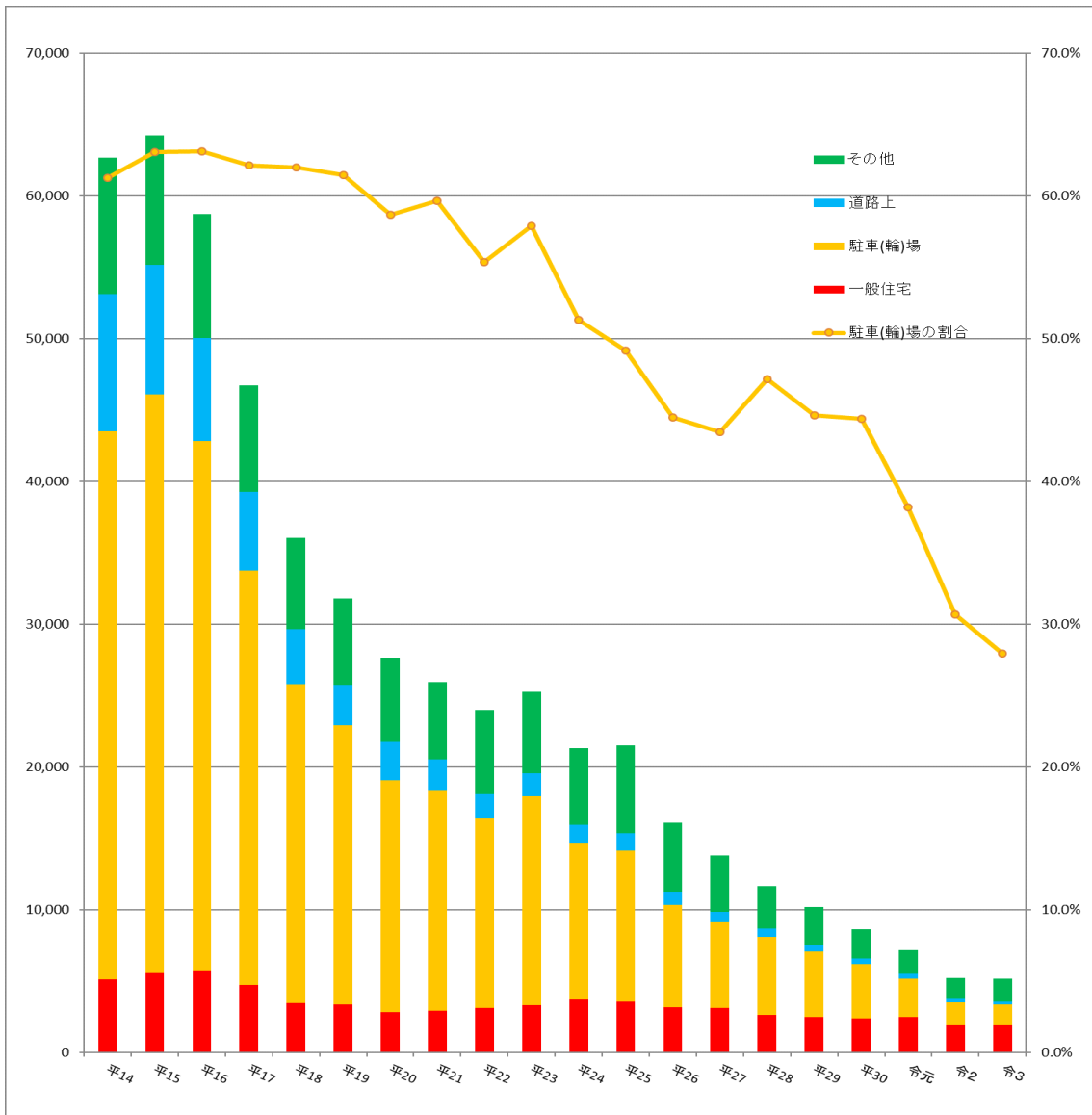
※「キーあり」とは、エンジンキーがイグニッションスイッチに差し込まれ、又は運転席若しくはその周辺に放置されていて被害に遭ったもの。

※「キーなし」とは、「キーあり」以外のもの。

3 自動車盗の駐車場所別認知件数の推移

自動車盗の発生場所については、「一般住宅」が最も多く、令和3年は全体の36.8パーセントと、約3分の1が一般住宅において盗難被害に遭っています。

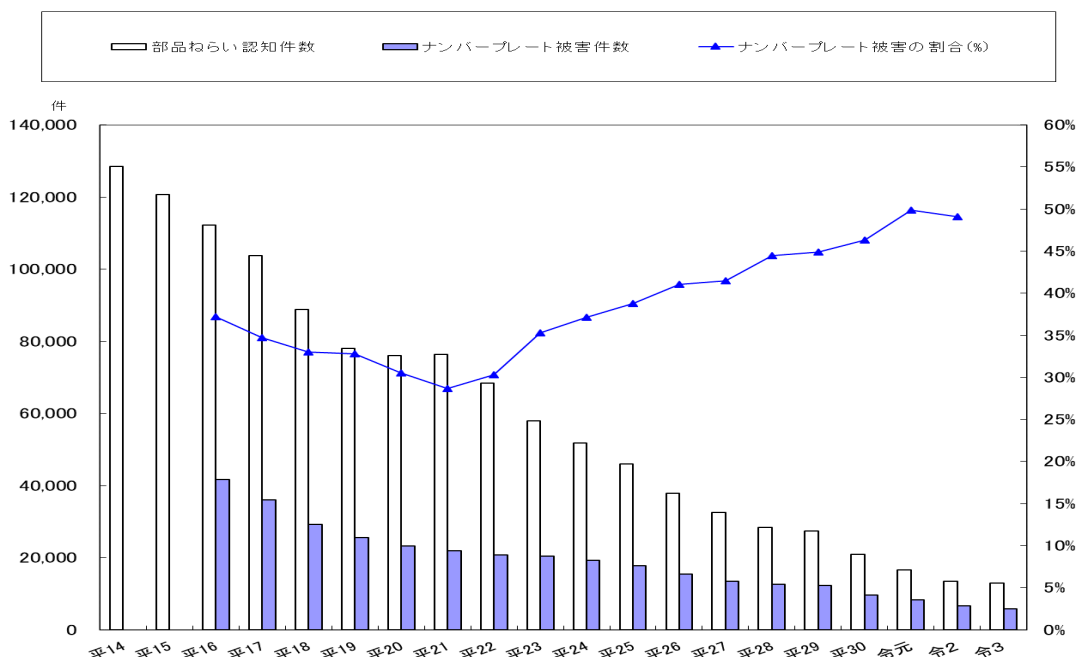
また、依然として「駐車場」における発生も多く、令和3年は全体の27.9パーセントとなっています。



	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3
認知件数	62,673	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182
一般住宅	5,130	5,574	5,756	4,722	3,458	3,374	2,822	2,912	3,112	3,331	3,690	3,564	3,173	3,097	2,614	2,496	2,373	2,460	1,915	1,907
駐車(輪)場	38,380	40,499	37,083	29,036	22,346	19,535	16,237	15,487	13,265	14,607	10,937	10,581	7,160	6,003	5,498	4,558	3,828	2,726	1,598	1,448
道路上	9,617	9,110	7,203	5,519	3,828	2,857	2,668	2,130	1,728	1,622	1,338	1,215	917	726	544	503	356	319	218	180
その他	9,546	9,040	8,695	7,451	6,426	6,024	5,941	5,431	5,865	5,678	5,354	6,169	4,854	3,995	2,999	2,656	2,071	1,638	1,479	1,647
一般住宅の割合	8.2%	8.7%	9.8%	10.1%	9.6%	10.6%	10.2%	11.2%	13.0%	13.2%	17.3%	16.6%	19.7%	22.4%	22.4%	24.4%	27.5%	34.4%	36.8%	36.8%
駐車(輪)場の割合	61.2%	63.1%	63.1%	62.1%	62.0%	61.5%	58.7%	59.7%	55.3%	57.9%	51.3%	49.1%	44.5%	43.4%	47.2%	44.6%	44.4%	38.2%	30.7%	27.9%

4 ナンバープレート盗難被害状況及び盗難防止ネジの活用について

車両の部品が盗難被害に遭う「部品ねらい」の認知件数は、平成14年以降、減少傾向にあります。一方で、部品ねらいに占めるナンバープレートの被害の割合は、令和3年は44.7パーセントと、依然として高い割合となっています。盗難されたナンバープレートは他の犯罪に悪用されるケースもあるため、警察庁では、防盜性が高い「盗難防止ネジ」の普及促進を図っています。



	平14	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3
部品ねらい認知件数	128,539	120,726	112,161	103,772	88,739	78,016	76,109	76,342	68,375	57,981	51,828	45,981	37,797	32,600	28,403	27,353	20,966	16,585	13,453	13,047
うちナンバープレート被害件数	-	-	41,764	36,021	29,274	25,569	23,207	21,869	20,745	20,482	19,256	17,817	15,509	13,529	12,629	12,289	9,709	8,267	6,608	5,833
ナンバープレート被害の割合(%)	-	-	37.2%	34.7%	33.0%	32.8%	30.5%	28.6%	30.3%	35.3%	37.2%	38.7%	41.0%	41.5%	44.5%	44.9%	46.3%	49.8%	49.1%	44.7%

- ※ 部品ねらいは、自動車、オートバイ、自転車等に取り付けてある部品、付属品を窃取する手口である。
- ※ ここでいうナンバープレートの被害件数は、部品ねらいにおけるナンバープレートの被害件数であり、部品ねらい以外の手口によるナンバープレートの被害件数は含まれていない。
- ※ 一つの事件について3以上の品物の被害があった場合、被害品数は3品目を限度として計上しているため、ナンバープレートが被害品として計上されていない場合があり得る。
- ※ 平成15年以前は、ナンバープレート被害件数の統計はない。